

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-163337

(43)Date of publication of application : 16.06.2000

(51)Int.Cl.

G06F 13/00
H04L 12/54
H04L 12/58

(21)Application number : 10-337231

(71)Applicant : KYOCERA CORP

(22)Date of filing : 27.11.1998

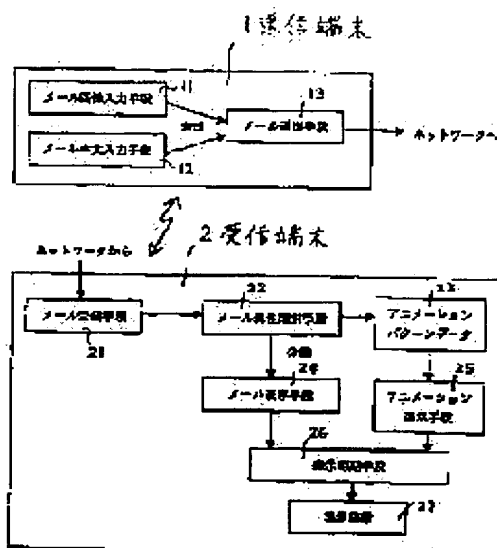
(72)Inventor : YAMASHITA HIROMASA

(54) ELECTRONIC MAIL TRANSMISSION SYSTEM

(57)Abstract:

本発明は、電子メールを送信する際に、送信元アドレスと宛先アドレスとを比較し、宛先アドレスが正しいかどうかを確認する。宛先アドレスが正しい場合は、宛先アドレスに基づいて宛先アドレスを修正する。宛先アドレスが正しい場合は、宛先アドレスに基づいて宛先アドレスを修正する。宛先アドレスが正しい場合は、宛先アドレスに基づいて宛先アドレスを修正する。

本発明は、電子メールを送信する際に、送信元アドレスと宛先アドレスとを比較し、宛先アドレスが正しいかどうかを確認する。宛先アドレスが正しい場合は、宛先アドレスに基づいて宛先アドレスを修正する。宛先アドレスが正しい場合は、宛先アドレスに基づいて宛先アドレスを修正する。宛先アドレスが正しい場合は、宛先アドレスに基づいて宛先アドレスを修正する。



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

14.05.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-163337

(P2000-163337A)

(43) 公開日 平成12年6月16日 (2000.6.16)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 G 5 B 0 8 9
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B 5 K 0 3 0
12/58			

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-337231

(22) 出願日 平成10年11月27日 (1998. 11. 27)

(71) 出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6 番地

(72) 発明者 山下 浩正

神奈川県横浜市都筑区加賀原 2 丁目 1 番 1

号 京セラ株式会社横浜事業所内

F ターム(参考) 5B089 GA21 JA31 JB01 JB22 KA02

KA18 KC37 KC44 KH11 LA12

LB01 LB18

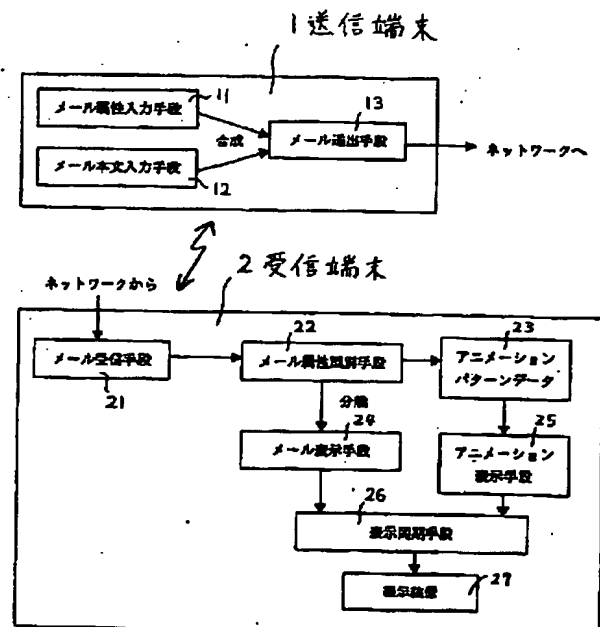
5K030 GA18 HA06 HB00 LD17

(54) 【発明の名称】 電子メール伝達方式

(57) 【要約】

【課題】 電子メールで送信する本文データに感情表現させる。

【解決手段】 送信端末に本文データ入力手段および属性入力手段を具備し、受信端末にこれらのデータを識別するための属性識別手段を設け、この属性識別手段によって本文データとアニメーションデータを表示同期手段に転送するとこの表示同期手段はこれらのデータを同期しながら表示することができるためにテキストメールでは伝えられない「感情」情報を相手端末に転送することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】電子メールを用いて相互に情報交換が行われる電子メール伝達方式において、送信端末は本文データを入力するメール本文入力手段と、この本文データに対して感情表現を付加するための属性を入力するメール属性入力手段と、これらの入力手段によって入力されたデータを相手端末に送出するメール送出手段とを具備し、受信端末は前記メール送出手段からのデータを受信するためのメール受信手段と、このメール受信手段によって受信したデータから属性を識別するメール属性識別手段と、このメール属性識別手段によって識別された属性にもとづいてアニメーションデータを検索する検索手段と、この検索手段によって検索されたアニメーションデータと前記本文データとを同期して表示する表示同期処理手段とを具備したことを特徴とする電子メール伝達方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は電子メールにおいて、本文（テキスト）データとこの本文データ以外の情報として「動きをとまなうデータ」つまり「アニメーションデータ」を送信することにより、受信側では本文データの表示に合わせて疑似人格を持ったキャラクタの表示や行動を制御し、相手に対してより正確に感情を伝えることを可能にした電子メール伝達方式に関する。

【0002】

【従来技術】従来の電子メール伝達にあつては、本文データだけを相手端末に転送するだけではその本文データの「感情」表現が伝わらないためにフェースマークとよばれる絵文字を付け加えることによって本文データのみでは表わせない感情を表現していた。

【0003】また、DDIポケット社が提供しているPメールサービスにおいては、あらかじめ定義されたアニメーション情報を文字コードの代わりに送っていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】このように従来の電子メール伝達方式にあつては、上述のフェースマークに関しては必ずしも標準化されているわけではないので、同じ絵文字が別の意味に取られてしまうというおそれがあった。また、本文中に余計な文字が付加されるためにあまり書き込むと本文がわかりにくいという問題点があった。

【0005】また、Pメールサービスにおけるアニメーションはあらかじめ動きのパターンまで決められた情報を送ることになるために相手端末に伝えられる情報の種類が限られてしまうという問題点があった。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明はこれらの課題を解決するためのものであり、電子メールを用いて相互に情報交換が行われる電子メール伝達方式において、送信

端末は本文データを入力するメール本文入力手段と、この本文データに対して感情表現を付加するための属性を入力するメール属性入力手段と、これらの入力手段によって入力されたデータを相手端末に送出するメール送出手段とを具備し、受信端末は前記メール送出手段からのデータを受信するためのメール受信手段と、このメール受信手段によって受信したデータから属性を識別するメール属性識別手段と、このメール属性識別手段によって識別された属性にもとづいてアニメーションデータを検索する検索手段と、この検索手段によって検索されたアニメーションデータと前記本文データとを同期して表示する表示同期処理手段とを具備した電子メール伝達方式を提供する。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を用いて説明する。図1は本発明の一実施例である電子メール伝達方式のブロック図であり、図2は本発明の一実施例である電子メール伝達方式の動作を説明したフローチャートである。図1において、1は送信端末、11はメール属性入力手段、12はメール本文入力手段、13はメール送出手段、2は受信端末、21はメール受信手段、22はメール属性識別手段、23はアニメーションパターンデータ、24はメール表示手段、25はアニメーション表示手段、26は表示同期手段、27は表示装置とから電子メール装置は構成されている。

【0008】図1および図2にもとづいて動作説明を行う。ここで、電子メールの例文を以下に説明する。

行動＝うろうろ動く、感情＝うれしい、キャラクタ＝犬、性格＝普通

先日はありがとうございました。

（メール本文続く）

行動＝止まる、感情＝悲しい、キャラクタ＝犬、性格＝普通、### せっかく旅行のお土産でいただいたガラスのコップですが、昨日落として割ってしまいました。### 行動＝お辞儀する、感情＝申し訳なさそうに、キャラクタ＝犬、性格＝普通 ### 本当に申し訳ありません。

（メール本文続く）

行動＝手を振る、感情＝嬉しい、キャラクタ＝犬、性格＝ミーハー、###

後日連絡します。それではまた図1で示される送信端末1が例えば上記のメールの内容を受信端末2に送信するときにメール本文入力手段12によってメールの本文を入力する（S3）。また、このメールの本文に感情表現を表わすために上述の###で囲まれた属性をメール属性入力手段11によって入力する（S2）。そして、これらの入力手段（11、12）によって入力されたデータをメール送出手段13によって受信端末2に送信する（S5）。

【0009】これらの電子メールを受信した受信端末2

はメール属性識別手段 22 によって受信データの属性に###が含まれているかどうかを判定するために属性の判定を行う (S8、S9)。属性に###が含まれていない本文データのみときにはメール表示手段 24 によって本文データを表示同期手段 26 に転送する (S12)。次に、属性に###が含まれているときにはこの属性にもとづいてアニメーションパターン検索を行う (S10)。そして、検索されたアニメーションデータを表示同期手段 26 に送出する (S11)。表示同期手段 26 はこれらの本文データとアニメーションデータとを同期しながら表示装置 27 に表示する (S14)。

【0010】

【発明の効果】以上のとおり、本発明は本文データとこの本文データの感情を表現するための属性データとを受信端末に転送し、受信端末はこれらのデータの識別結果にもとづいてそれぞれのデータを表示同期手段に転送し、これらのデータを受信した表示同期手段が本文データとアニメーションデータとを同期しながら表示できるようにテキストメールでは伝えられない「感情」情報を相手端末に転送することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施例である電子メール伝達方式のブロック図である。

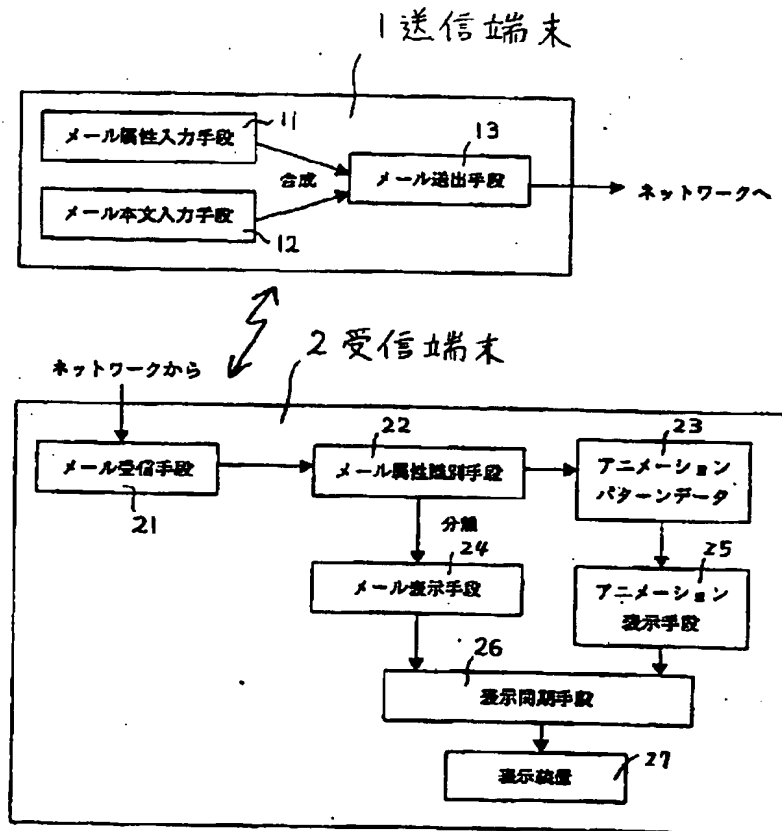
【図 2】 本発明の一実施例である電子メール伝達方式の動作について、(a) は送信側の処理であり、(b) は受信側の処理を説明したフローチャートである。

【符号の説明】

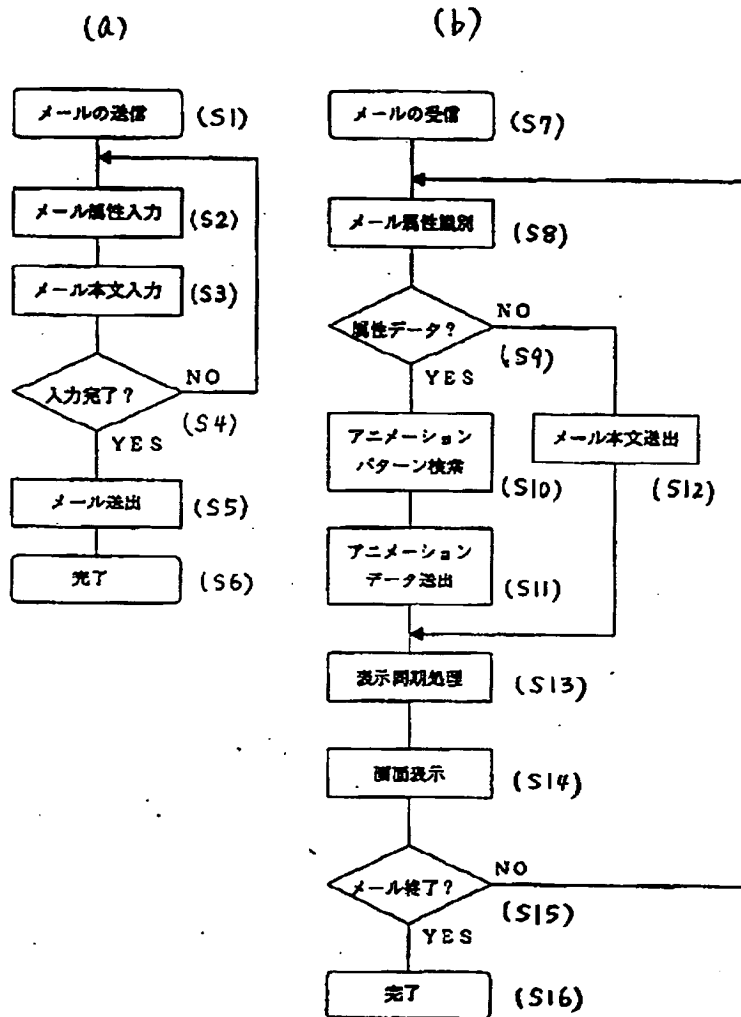
- 1 送信端末
- 11 メール属性入力手段
- 12 メール本文入力手段
- 13 メール送出手段
- 2 受信端末
- 21 メール受信手段
- 22 メール属性識別手段
- 23 アニメーションパターンデータ
- 24 メール表示手段
- 25 アニメーション表示手段
- 26 表示同期手段
- 27 表示装置

20

【図 1】



【図 2】



【手続補正書】

【提出日】平成10年12月14日（1998.12.14）

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正内容】

【0009】これらの電子メールを受信した受信端末2はメール属性識別手段22によって受信データに“##”で囲まれた属性データが含まれているかどうかを判

定する（S8、S9）。“##”で囲まれていない本文データのときにはメール表示手段24によって本文データを表示同期手段26に転送する（S12）。次に、“##”で囲まれた属性データのときにはこの属性にもとづいてアニメーションパターン検索を行う（S10）。そして、検索されたアニメーションデータを表示同期手段26に送出する（S11）。表示同期手段26はこれらの本文データとアニメーションデータとを同期しながら表示装置27に表示する（S14）。